

すなやま支援員

Vol. 8

だより



平成 30 年 12 月 発行

発行者：砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設：ぎよぎよかい めでたや

住所：塩谷 1181 電話・告知端末：62-7273

地域とともに歩む学校 砂山小学校 ～地域・保護者・学校の連携～

平成 31 年度末をもって砂山小学校は閉校となり、平成 32 年度からは平林小学校と砂山小学校が統合され新しく『平林小学校』が開校されます。校舎がなくなるわけではありませんが、砂山小学校の校名が変わってしまうのは少しさみしい気持ちもあります。

今回は、砂山小学校の校長先生に地域とのかかわりや砂小の子供たちについてお話を伺ってきました！



砂山小学校
細貝 岳 校長先生

燕市出身で村上には単身で来ています。当校では【ふるさと砂山に愛着と誇りを持ち、仲間とともに未来を力強く切り拓く子ども】の育成を目指し、教育活動全体を通して地域・保護者との連携を強化重視するとともに、「砂小郷育・キャリア教育プロジェクト」として総合・生活科を中核に地域発信、地域貢献に取り組んでいます。

砂小の子供たちは素直で子供らしい子供たちで元気がよく、歌声も素晴らしいです。

日頃から地域の皆さんが砂小の活動に積極的に協力して下さり、様々な学校主催活動を行うことができ大変ありがたいです！

地域とともに歩む学校をつくるためこれからも地域の皆さん・保護者の強力な支援体制のもと日々その恩恵を感じています。

11/28 に行われた 4 年生「塩引き鮭づくり」の様子



えらを外すのは力があるね！

地域のボランティアの方々が、作り方を教えてくれました。

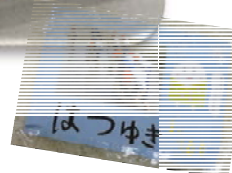


塩はウロコと逆に力を入れてすり込んでね

12/4 と 12/7 5 年生が めでたやで学校田のお米を販売しました



2 班に分かれて販売。大勢の人が買いに来てくれました！



砂山のわけしょ

前回までは各集落の区長さんにお話を伺ってきましたが、今回からは若い世代の皆さんに、地域の魅力や課題をお聞きし、これからの地域づくりを一緒に考えていきたいと思っています。

第1回目は、牛屋消防団長 遠山利幸さんです。

遠山さんはご両親と一緒に家族経営で農業に従事し、地域農業の担い手として活躍されています。

この時期は農作業もひと段落し、ようやく少しゆっくりできるとのこと。

少子高齢化が進むと農地の管理も困難になってくることを、今後の農業の課題と感じておられます。



牛屋消防団は現在 19 名で活動していますが、比較的若いメンバーが多いです。団員の中には牛屋から転出した人もいますが、転出してからも団員として残り、参加できるときには参加することで地域との関わりを継続しています。

自分は農業をしているので平日も集落にすることが多いですが、団員は勤め人が多く、いざという時にすぐに集まれる人がどれくらいいるか不安に感じることもあります。

牛屋集落には婦人会や青年団がないので、公民館の保全や集落行事のお手伝いなどに協力することも多いです。



4月から砂山地域の集落支援員として各集落にお伺いし、様々なお話を聞かせて頂きました。知っているようで知らなかった集落の特色や行事があり、とても興味深く、また、中高年の方々がリードして集落を動かしていることをとても心強く感じました。

人口減少に伴いどうしてもマンパワーが不足してくると思います。平林中学校が今年度で閉校になり現在の神納中学校に統合されると、中学生が地域活動に参加する機会が減るのでは？と心配の声も耳にします。みんなで力を合わせて協力していける地域、子供たちが自慢でき、ここに住み続けたいと思えるような魅力ある地域にしていきたいですね！

今年も残すところあとわずかとなりました。例年と比べ暖冬のようなようですが、新潟の冬は雪が降り天候のはっきりしない日が続くことと思います。若い人が簡単に出来る事でも、お年寄りにとっては重労働になるのが雪かき。

雪が降った時は両隣のお家にも目を向けて、少しのお手伝いをお願いします。



すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお問合せください。

E メールアドレス : sunayama-shien@sea.plala.or.jp